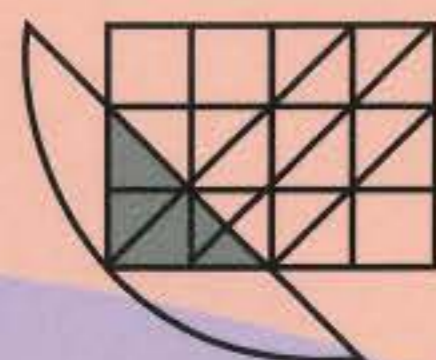


博物館だより



和歌山県立博物館

WAKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM

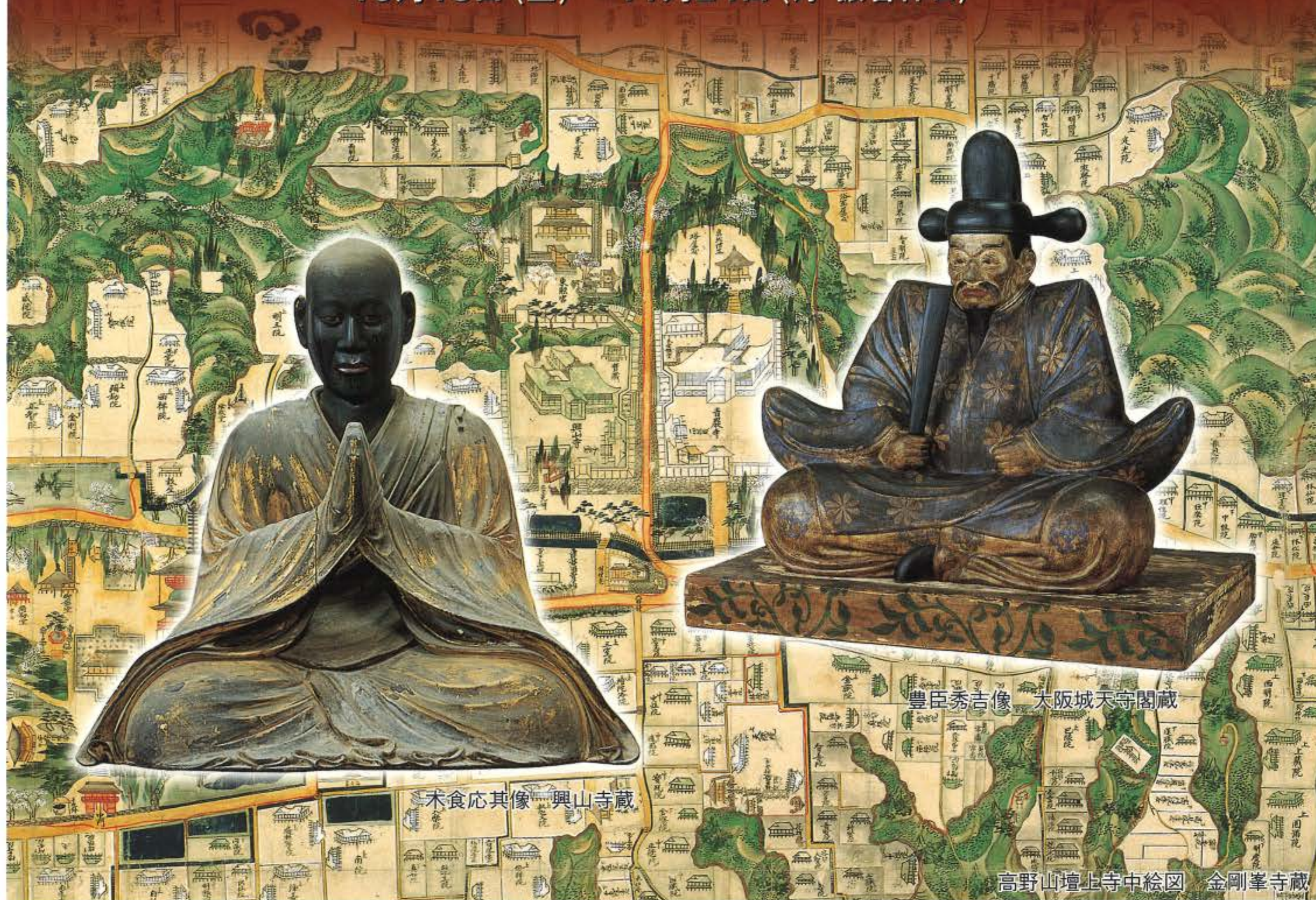
No.13

2008.3

特別展 没後400年 木食応其 OGO

—— 秀吉から高野山を救った僧 ——

10月18日(土)～11月24日(月・振替休日)



木食応其像 興山寺蔵

豊臣秀吉像 大阪城天守閣蔵

高野山壇上寺中絵図 金剛峯寺蔵

特別展

田辺・高山寺の文化財

4月26日(土)～6月1日(日)



特別展

田辺・高山寺の文化財

4月26日(土)～6月1日(日)

田辺市稲成町に位置する高山寺は、真言宗御室派の寺院として、仏教美術に関わる文化財が伝来していますが、境内には有名な高山寺貝塚があり、また、近世・近現代においては、田辺地域の文化活動の中心として、様々な芸術作品・学術資料などが次々と収蔵されました。この特別展では、田辺地域の文化財が集積する拠点として、高山寺所蔵の資料を初めて総合的に紹介します。



寒山拾得図 長沢芦雪筆 和歌山県指定文化財 高山寺蔵



高山寺多宝塔

芦雪・熊楠・盛平が集う



聖徳太子孝養立像 和歌山県指定文化財 高山寺蔵

【展示構成】

- I 高山寺貝塚
- II 高山寺の成立と展開
- III 近世の文化と高山寺
- IV 高山寺の古経典
- V 近代の高山寺をめぐる人々
- VI 浦宏の考古学研究

館蔵品コーナー 13

根来寺境内絵図

縦六五・七cm 横八九・三cm 一幅 江戸時代



覚鑑(一〇九五～一一四三)により高野山上に建立された大伝法院は、鎌倉時代後期にまで至る金剛峯寺方との激しい抗争の末、弘安年間に高野山を下山し、弘田莊根来(現在の岩出市根来)の地に移転しました。根来寺の寺名はこの頃に成立したものです。根来寺はその後、室町・戦国時代には紀の川下流域から泉南地方にかけて勢力を伸ばしましたが、羽柴(豊臣)秀吉の紀州攻めにより、壊滅的な打撃を受けました。

この絵図は、秀吉による紀州攻め以前の根来寺境内の様子を再現的に描いた絵図で、山内の堂塔やおもだつた院家を描いています。中・近世の根来山内を描いた数点の絵図の中でも、この絵図は学侶方・行人方の双方にわたる院家を描いている点で貴重な資料です。これによれば、

根来の山内は東に菩提谷、西に蓮華谷、西谷、北に大谷、小谷という大小の谷筋によつて区分され、堂塔・院家はその谷筋に沿つて立ち並んでいたことがうかがえます。

特別展

没後四〇〇年

木食応其OGO

— 秀吉から高野山を救った僧 —

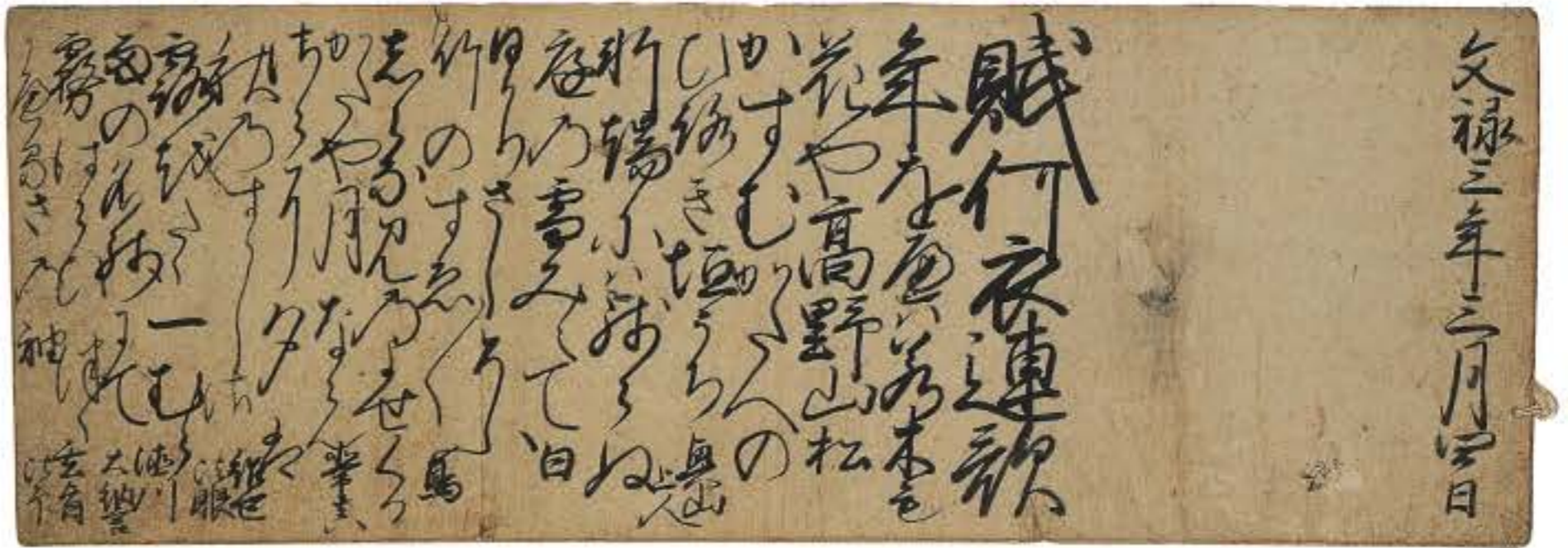
10月18日(土) ~ 11月24日(月・振替休日)

木食応其(一五三六〜一六〇八)は、安土・桃山時代から江戸時代初頭にかけて活躍した真言宗の僧侶で、豊臣秀吉が天下統一を行っていくなかで、重要な役割を果たしました。また、天正一三年(一五八五)に行われた秀吉の紀州攻めの際に、高野山を救った人物としても有名です。紀州を平定した秀吉は、高野山の支配を応其に委ねました。高野山上の復興をはじめ、山下の拠点として、応其寺や興山寺を創建しました。応其はまた連歌をよくし、『無言抄』を著したほか、秀吉の参加する連歌会も主催しています。

この特別展では、さまざまな角度から応其の事績を明らかにし、同時に活躍の舞台となった高野山の周辺地域に残る貴重な文化財なども紹介します。



太閤秀吉像 重要美術品 蓮華定院蔵



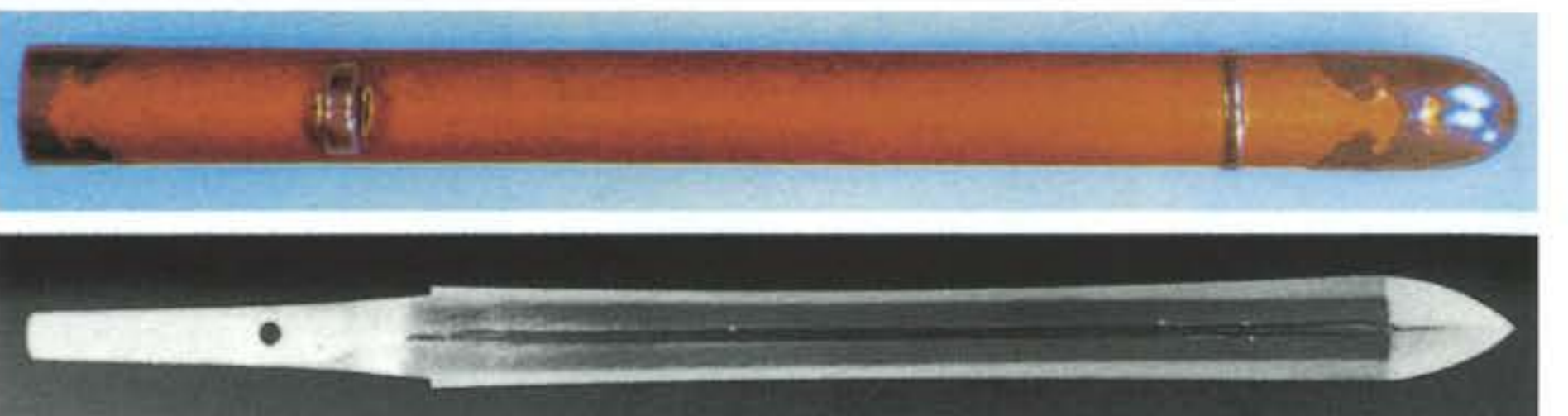
文禄三年連歌懐紙 和歌山県指定文化財 安養院蔵



木食応其像 橋本市指定文化財 応其寺蔵



金銀字一切経(中尊寺経) 国宝 金剛峯寺蔵



剣 銘国広(興山上人寄進) 重要文化財 蓮華定院蔵

企画展	企画展	企画展	特別展	企画展	企画展	企画展	特別展	企画展	常設展
絵図をよむ2 (次年度)	根来寺の“内”と“外”	新収蔵品展	没後四〇〇年 木食応其 OGO —秀吉から高野山を救った僧—	古文書が語る 紀州の歴史	奇跡の仮面、大集合！ —紀州東照宮・和歌祭の面掛行列—	紀伊藩主をめぐる文雅	田辺・高山寺の文化財	根来寺の今と昔 (前年度)	きのくにの歩み —人々の生活と文化—
3月14日～4月19日	1月31日～3月8日	12月6日～1月25日	10月18日～11月24日	9月6日～10月5日	7月19日～8月31日	6月7日～7月13日	4月26日～6月1日	3月22日～4月20日	4月1日～10月10日 11月30日～3月31日
絵図は、その時代の景観や地理的環境を伝えてくれる貴重な歴史資料です。絵図は絵師によって描かれることもあり、絵画的な描写で立体感を表現しています。この企画展では、さまざまな目的で描かれた絵図を紹介し、絵図に描かれた情報をよみとることで、昔の和歌山の姿を明らかにします。	岩出市にある根来寺は、近年の発掘調査の成果により、その実態が次第に明らかになってきました。この展示では、寺院内外における宗教・経済活動の双方に光を当て、中世根来寺の全体像に迫ります。和歌山大学紀州経済史文化研究所「フィールドミュージアム根来」との合同企画。	県立博物館では、和歌山の歴史や文化に関わる資料収集方針に基づいて、購入あるいは寄贈により館蔵品の収集をおこなっています。この企画展では、近年新たに収集した資料のうち、絵画・書跡・典籍・古文書・歴史資料などを中心に、その資料の位置づけについて紹介いたします。	木食応其は、戦国時代から江戸時代初頭に活躍した真言宗の僧侶で、豊臣秀吉が天下統一を行っていくなかで、重要な役割を果たしました。また、天正一二年（一五八五）に行われた秀吉の紀州攻めの際に、高野山を救った人物としても有名です。この特別展では、さまざまな角度から応其の業績を明らかにし、同時に活躍の舞台となった高野山の周辺地域に残る貴重な文化財なども紹介します。	古文書は、私的なやりとりを交わす手紙のようなものから、必要に迫られて意図的に偽作されたものまで、実に様々な目的で作成されます。一通の古文書や典籍など、書かれた文字から無限に広がる紀州の奥深い歴史の世界を紹介いたします。	紀州東照宮の例大祭和歌祭では、神輿渡御の際に大行列を作ります。その中に、面掛とよばれる仮面行列があります。そこで使用される仮面は、古い神事面や能・狂言面など約百面からなるとても珍しいものです。これら仮面を一堂に展示し、その魅力をご紹介するとともに、仮面群の成り立ちに迫ります。	徳川御三家の一つであった江戸時代の紀伊藩では、歴代の藩主が、学問や文化の育成につとめたため、全国から多くの人材が集まりました。また、藩主の中には、書や絵画、陶芸などを自ら制作した人物もいました。この企画展では、そうした紀伊藩主をめぐる文化・芸術活動を紹介します。	田辺市にある高山寺には、真言宗の寺院として伝来する文化財だけではなく、田辺地域で活躍した人々ゆかりの資料も多く残されています。境内で発見された高山寺貝塚の資料なども合わせて、高山寺所蔵の文化財を、初めて総合的に紹介いたします。	この二〇年ほどの間に進展した根来寺遺跡発掘調査の成果をふまえて、院家の名前が明らかになる出土資料を中心に、根来寺の院家(坊院)の実態を分かりやすく展示します。	三万年にわたるきのくに—和歌山県の歴史を、人々の生活と文化を主軸として分かりやすく展示しています。特別展開催中は、常設展示室の一部または全部特別展会場となる場合がありますので、注意下さい。

お知らせ

◆博物館では、主要な作品をイヤホン式ガイド機で解説する音声ガイドを提供していますので、ぜひご利用下さい(一般二〇〇円、高校生以下一〇〇円)。常設展については、上級コース・英語版もあります。

◆博物館のウェブサイトで、展覧会の詳しい情報や学芸員によるコラム、博物館ニュース、刊行物のリスト、県内の文化財情報、博物館の多様な利用方法を掲載しています。検索エンジンで「和歌山県立博物館」などと検索して下さい。URLは下記にも記載しています。

◆博物館では、学校行事での利用はもちろん、職場体験やミュージアムボランティア・教員研修など、学校と連携した教育・普及活動にも取り組んでいます。詳しくは当館学芸課までお問い合わせ下さい。またホームページにも案内を掲載しています。

和歌山県立近代美術館(博物館となり)の展覧会

コレクション展 2008—春	4月15日～6月29日
企画展 叙情の様式	4月19日～5月25日
企画展 共作×共鳴×共感—ともに作られた作品たち	6月3日～7月13日
コレクション展 2008—夏	7月8日～9月23日
特別展 ルーオの「ミゼレレン」—人間へのまなざし—	7月20日～8月31日
特別展 点と面の詩情—上前智祐・山中嘉・坪田政彦展—	9月13日～10月26日
コレクション展 2008—秋	10月4日～12月7日
企画展 彼岸の美術	11月2日～12月14日
全館常設展 美術百科「この人はだれ」の巻	12月23日～4月12日

博物館の利用案内

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は次の平日)
年末年始および展示替え期間中は臨時に休館します。
詳しくは博物館までお問い合わせ下さい。

駐車場

1時間まで	来館者	200円	来館者以外	300円
以後30分ごと	100円	100円		

※大型バスでご利用の場合はお問い合わせ下さい。

入館料

〈田辺・高山寺の文化財〉(常設展示も一部行っています)

一般	大学生	
個人	500円	300円
団体	400円	250円

〈木食応其 OGO〉(常設展示は行っていません)

一般	大学生	
個人	800円	500円
団体	650円	400円

〈常設展・企画展〉

一般	大学生	
個人	260円	150円
団体	210円	120円

※高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生・就学生の方は無料です。
※団体申込みは、和歌山県電子申請システム(<https://www.epref-wakayama.jp/sinsei/index.html>)からでも申し込みできます。必要事項記入のうえ、お申し込み下さい。
※企画展の展示替え期間中は常設展示のみとなります。

和歌山県立博物館友の会

平成20年度会員募集

友の会では、バスツアー(年2回)、書籍の割引販売などの事業を行っています。入会お申し込み・お問い合わせは友の会事務局(Tel.073-436-8670)まで。

交通



JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバスで県庁前下車、徒歩2分

和歌山県立博物館 博物館だより 第13号

発行日 平成20年(2008)3月15日
編集 和歌山県立博物館
〒640-8137 和歌山市吹上一丁目4番14号
TEL(073)436-8670
<http://www.hakubutu.wakayama-c.ed.jp>